

「2012年度 ライフサイエンス研究奨励」 申込の留意事項

申込に際しては募集要領およびFAQを熟読のうえ、下記留意事項に従ってお申込みください。応募用紙はダウンロードしてお使いください。

1. 応募用紙は「2012年度ライフサイエンス研究奨励推薦書」「2012年度ライフサイエンス研究奨励申込書」、「研究要旨」および「被助成歴」の4様式からなっております。各項目に従って記入ください。

(1) 氏名、所属機関、部科、職位、所属機関住所、郵便番号、電話番号、E-mail については、連絡させていただき必要上、正確に記入ください。

(2) 「研究要旨 No. 5」に応募者の論文リスト（15件以内：リスト記載時の留意事項①全著者名を記載する②応募者名には下線を引く③雑誌名はゴシック体で記載する④著者に応募者名が掲載されているものに限る）を記載し、代表論文（1編に限る）を添付ください。書ききれない場合は「研究要旨 No. 6」を利用ください。

(3) 各用紙に氏名欄がありますので、記入漏れのないようお願いします。

(4) 推薦者の該当研究に対する推薦書を必ず添付ください。

2. 応募書類を郵送する場合は、ライフサイエンス研究奨励申込書および推薦書を3部（原本1部、コピー2部）、研究要旨および論文を2部（原本1部、コピー1部）を提出ください。また、郵送の場合は送付の封筒表面に「ライフサイエンス」と記入ください。

応募締切：2012年4月5日（木） 必着

3. 助成金をお受けになった研究者には、後に下記のことをお願いしますので、その旨お含みのうえ応募ください。

- (1) 2014年5月末までに研究経過または研究結果の報告をお願いします。

研究途中の場合は経過概要を原稿用紙3~4枚程度にお纏めのうえ報告ください。研究終了後に改めて論文（研究結果報告の代替とします。）または研究結果の報告をお願いします。

研究結果を論文発表された場合には別冊またはコピーを一部当財団宛に送付ください。報告いただいた論文は助成対象者公表文献一覧表として財団ホームページに掲載します。

論文発表されない場合は研究結果を原稿用紙3~4枚程度にお纏めのうえ報告ください。

- (2) 研究の発表に際しては、当財団からの助成を受けた旨の記載をお願いします。

（財団英文名：Takeda Science Foundation）

4. 助成金は、対象研究に直接関係ある費用に限って使用ください。当財団は施設への助成金（寄附金）申込時に間接経費（いわゆるオーバーヘッド）の免除の願いをしております。また、助成金は施設での受入および管理を原則としております。なお、使用期限は特に定めておりません。

2014年5月末までに収支報告書（様式は自由）を提出願うこととしております。

研究途中の場合は2014年3月末時点での収支報告書を中間報告として提出ください。

研究終了時に改めて収支報告書の提出をお願いします。

5. 応募内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しませんが、提出いただいた書類は返却しません。また、助成対象者に関する情報（氏名、所属、研究題目、金額）は一般公開しますので、予め了承ください。

以 上